

第1回三次市行財政改革推進審議委員会 委員発言要旨

日 時：令和2年8月28日（金）13時30分～15時30分

会 場：三次市役所本館6階608・609会議室

出席委員：橋本会長，八谷副会長，安藤委員，上野委員，梅木委員，岡田委員，梶原委員，
原田委員，福永委員，山下委員，鷺尾委員

欠席委員：小川委員，中宗委員

○ 行財政改革に係る取組状況等について

（会長）

行財政改革推進審議委員会は、何をめざすのか、この地域をどうしたいのかといった議論ができる場でありたい。新たな前向きな議論をしていきたい。

（委員）

全国的に新型コロナウイルス感染症が流行している中、人が動けば経済が動くと言われているが、一方で感染が懸念される。三次市でクラスターが発生した際には、医療機関でも売り上げが30%減少し、それが今も続いている。来院が難しい患者には、希望があれば薬を送ることはできるが、持病が悪化するのではないかという、見えない怖さがある。

そんな中、明るいニュースとして、テレビ番組で三次の「アマビコ」が取り上げられ、全国的にも三次が注目された。あわせて、平田観光農園についても放送され、すごいなと感じた。

（委員）

今、住民自治組織では、ビジョンに基づき、地域の声を聞きながら、市と一体となってまちづくりに励んでいるところである。安心して暮らせる、暮らしてみたいと思えるようなまちづくりをめざし、各住民自治組織で課題を共有し、一つひとつの課題を解決しながらまちづくりを進めている。

三和町は、現在、合併当時から1,000人程度の人口が減少し、高齢化率は50%である。あと5年もすれば、70歳以上がほとんどを占めることになるかと予想される。そういった危機感から、昨年度、三和町をPRするPV（プロモーションビデオ）を作成し、各方面に三和町の良さを発信している。今後も、市役所と情報を密に共有しながら進めていきたいと思っている。

（委員）

最近、暑い中ではあるが、子どもたちはマスクをしながらも元気に学校に通っている姿を見ると、私たち大人も頑張らないといけないなと感じている。

（委員）

三次は子育てしやすい環境であると思う。

会社を経営する中で、売り上げ自体は落ちているが、ネット通販の需要は伸びており、新型コロナウイルス感染症の悪い影響がある一方で、これをチャンスとして、都会から人を呼び込めるようなアクションを起こしていけたら良いなと思っている。

(委員)

新型コロナウイルス感染症が流行する中、4・5月にイベントの中止や外出の自粛が続き、高齢者がどこへも外出できない状況があった。家にこもったままだと、気分が落ち込み、認知症が進んだり、身体の機能が衰えるといった心配があったが、6月から地域が自主的にサロンを再開しようと動かれ始めた。地域の力はすごいなと感じた。

(委員)

飲食店を起業して4年目になるが、起業する際には、「アシスタ lab.」を紹介してもらい、女性起業セミナーを受けて分からないことが分かるようになった。開業して2年目の平成30年に、7月豪雨災害が起こり、店が床上浸水の被害にあった。3年目は猛暑の影響で、客数が減少した。4年目の今年、新型コロナウイルス感染症の影響で、緊急事態宣言・休業要請を受け、これからどうしようかと思っていた時に、市内のフードセンターから声をかけてもらって、スイーツの販売を行うようになった。また、「アシスタ lab.」を通じて、市役所職員にも注文書を配布してもらったところ、5・6月は、通常の月の1.8倍の売り上げがあった。三次市役所の足取りの軽さ、対応の素早さに驚くとともに、大変感謝している。

(委員)

会長がおっしゃったように、この委員会では、地域の理想像を描きながら、未来につながる前向きな議論をしていくことは大切であると思う。一方で、やるべきところに力を入れるためには、やらないことはやらないといった厳しい議論もしなければならないと思う。

資料を拝見したが、内容や部署が多岐にわたり、どれが一番肝になる課題なのかかわりにくいと感じた。市民としては、三次市はこんなに取り組んでいる、だけどよくわからないといった印象になる。評価されているところはPRしつつも、わかりにくくマイナスになっているところは改善し、みんなが同じ土台に立って議論が進められたら良いと思う。

(委員)

この委員会での私の役割としては、企業としての知見・意見を述べることではないかと思っている。何をめざすのか、具体的に何を选ぶのかという点については、どういう方向・仕組みで議論すればあるべき姿に近づけるのか、といった視点で企業の仕組みが生かせるのではないかと思う。

企業でも選択と集中は重要視されており、コーポレート・ガバナンス(企業統治)、いわゆる会社組織のあり方について、どのように構築していくのかといったことはここ数年議論されているところである。最近、社外取締役として外部企業の取締役や経験

者、学識経験者等の知見を取り入れながらあるべき方向に向けてビジネスを進めるといった例もある。この委員会では、こういった仕組みや考え方の方向性について、企業としての経験を生かせることができればと思っている。

(委員)

三次市は行政も含めてがんばっていると思う。行政と財政の改革は若干性格が違う点もあるが、表裏一体である。

行政改革について、リモートワークの推進について盛んに言われている中、依然として公式文書には押印が必須になっており、そのために市役所や支所に行かなければならぬといった状況にある。また、以前、三次市はペーパーレス決裁を推進されていたが、今どのような状況にあるのか疑問である。

財政改革について、限られた予算の中で進めるためには、選択と集中は必須であり、どう進めていくかが大切である。効率という面では、おカネだけでは測れない面もある。どうすれば、市民が生き生きと活動でき、あるいは市民と職員とで一体となって活動できるのかという点を含めて考えていく必要があると思う。

市内で新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生した際、施設に対する偏見や差別的な言動は私の耳に入ってこなかったように思う。人間と人間の絆を切るような行動がない(少ない)のは、幼い頃からの三次の教育や風土が影響しているのか、誇れることだと思う。

(副会長)

質問したい点がある。

資料4の2ページ「高校生地域づくり実践プロジェクト事業」について、それぞれの学校でこれら以外にも取組をされているという中で、なぜこの2事業を取り上げられたのか。三次市としてどのような形で支援されたのか。

「三次市ずっと住み続けたいまち本部」については、いつまで続けるといった期限があるのか。

「公式SNSを活用した情報発信」として、フォロワー数429人を、他市の状況も含めてどう捉えているのか。(多いと捉えているのか、少ないと捉えているのか)

(事務局)

「高校生地域づくり実践プロジェクト事業」については、他の市内の学校を含めて、地域づくりを考え貢献できるような様々な取組がされているが、今回、このプロジェクト事業を活用したのは2事業ということである。支援の形としては、アドバイスも含めて財政的な支援を行った。

「三次市ずっと住み続けたいまち本部」は、福岡市長が就任して発足されたもので、事業をされている方や二地域居住者など、地域で実際に活動されている方を中心に人口減少を食い止めるために議論をさせていただいているものである。本部の期限については、明確に把握できていない。

SNSを活用した情報発信について、目標値を令和5年度3,000人としており、42

9人は令和元年度の実績になるが、今年度から Facebook のほか Twitter や LINE を始めており、すでに目標値を超えている。しかし、三次市の人口に対しては少ないものと感じており、目標値の見直しを検討する必要があると考えている。先般の大雨などが発生した際には、情報収集の手段として活用されている傾向がある。

(副会長)

SNSは地域内に限らず、全国に地域の魅力を発信できるツールである。しっかり活用してもらいたい。

資料を拝見した感想として、令和元年度は第4次推進計画がスタートして1年目の年になるが、よく頑張っておられ、今後期待ができるものと感じている。

今年度の取組については、コロナ渦での取組になり、非常に厳しい状況になると思う。計画通りに進まない状況も考えられるので、見直しが必要な項目も出てくるものと感じており、市役所内で十分検討しながら進めていく必要があるものと思っている。

三次商工会議所でも4月から8月にかけて、事業者から900件近い相談があった。8月29日から三次藩札を一般販売するが、50,000冊のうち、すでに4万8,000冊について事前申込があった。これは、全体の96%に当たり、例年だと、50%から60%の事前申込だが、今回は、新型コロナウイルス感染症の影響もあって市民の反応が大きかった。この三次藩札は事業者への経済効果が期待できるもので、他の市町に先駆けて取組が進められている。今後、事業を進めていく上で、三次藩札の増刷を含め、事業者への支援を強力にお願いしたい。

ICTの活用については、テレワークの必要性が見直されたところではあるが、現実としてすぐに対応できる企業ばかりではない。BWAを推進することとされているが、新型コロナウイルス感染症や災害などに対する、迅速で正確な情報を市民に発信できるよう力を入れて進めてもらいたい。

高齢者への支援について、実績が上がっているものもあるが、一般的な取組であるような印象を受ける。買い物支援や生活支援など、地域にそったインパクトある支援が必要ではないかと思う。

(会長)

一通り、委員の皆さんに発言していただいた。その中でも、「新型コロナウイルス感染症に関する差別的な言動が三次では見られなかった」「新しいことを思いついてすぐに行動に移す」といった三次市の良い面を踏まえながら、より柔軟で臨機応変な行政になるにはどうしたら良いかを考えていくことも重要である。

今後、こういった切り口を大事にしたら良いか、こういったところを考えたら三次市の可能性が伸びるのではないかといったアイデアなど、外からの視点でご意見をいただきたい。

(委員)

起業する際は、セミナーや個人面談に参加させてもらうことができたが、起業してしまうと、仕事と重なってセミナー等への参加が難しくなることが多かった。「アシスタ

lab.」の会員ではあるものの、その活用の仕方が分からなくなり、職員の方も、手探りの状況で、どうサポートしたら良いのかわからないような状況で、起業した後の支援について課題があると感じている。

(会長)

新しい取組だと動きながら進めていくことになると思うが、今のご意見が市役所に届いて、どう工夫したら良いのか市役所と議論しながら進めていくことが大切だと感じる。

(委員)

内向きの話として、部署間の横の連携を上手くとってもらうことが必要だと思う。鳥獣被害については、農政課が主担当であるが、市道が関係することになれば土木課で対応できることがあると思う。農産物の販売についても、農政課は生産に力を入れているような風潮があり、販売の面では商工観光課が管轄されているように感じられるが、農産物だから農政課が所管であるといった反応もあり、同じ部内でも連携が今ひとつに感じる。

外向きの話として、三次市が抱える課題は、他の地域も同じように抱えている。取組が進んでいる他市の状況をベンチマークしながら、外からの情報を得ることも重要だと思う。

(委員)

資料に横文字が多いので、できれば日本語で表示してもらいたい。

(委員)

新型コロナウイルス感染症の関係で学校が臨時休校になった。放課後児童クラブに入会していない保護者で、仕事を休まざるを得ない方について、助成金がもらえなかったという話を聞いた。放課後児童クラブに入会すれば、働けるという理由で、断られたということだったが、どこか腑に落ちない。(国の制度ではあるが) そういった助成金や支援について、口コミでしか情報が得られなかった。

(会長)

今の話は、こういった場面で声に出さないと問題にならない。国の制度であっても、こういった仕組みになっているか、市民が納得することは大切だと思う。市民にとってわかりやすい説明を行政がしていくためにはどうしたら良いかといった議論も必要であると思う。

(委員)

ふるさとサポーター制度があるが、サポーターになったら何か特典はあるのか。

(事務局)

この制度は、市外に住んでいる方で、三次市を応援したい方が登録するもので、サポ

ーターには三次の情報を発信している。多大な特典があるわけではないが、東京でサポーター同士の交流・つながりを深めてもらうためのイベントを開いたりもしている。

(委員)

ふるさとサポーターと県人会は関わりがあるのか。

(事務局)

全く関係ないというわけではないが、母体が違うので連携してはいない。

(委員)

お店を利用された方で、広島市内の企業の方がいらっしゃったが、「三次市はフットワークがとても軽い、イベントをしようとした際にも前向きに考えてくれる」とおっしゃられていた。市外からも三次市は評価されているということ、この場を借りてお伝えしておきたい。

(会長)

長い付き合いの中で思うが、三次市役所は真面目で、その点は良いところである。だからこそ、こういった場面で、良い部分だけでなく、悪い部分や足りない部分などが、今後も議論されることが大切だと思う。

(委員)

資料2の5ページに「まちづくりに参加している人の割合」とあるが、まちづくりに参加している人はどういう人をさすのか。

(事務局)

第2次三次市総合計画の策定・見直し時に、市民アンケートを実施しており、「どのようなまちづくりに参加されているか」という項目の中で、該当の活動に○をしていた方を抽出し、まちづくりに参加している人の割合を出している。

(会長)

膨大な資料を事前に送らせていただいた中ではあったが、本日は、皆さんに熱心に議論に参加していただいた。せっかくこういった場があるので、次回、発言したいと思うことがあれば書き残しておいてほしい。少しでも三次市の可能性が高まるような議論ができる場であれば良いと思っている。

(副会長)

今日は、これまでの取組内容や現状、今後の方向性等、いろいろな立場の皆さんから話を聞きながら共有できたと思う。今日の内容をもとに、次回はもっと深く議論ができれば良いと思う。